



2018年3月1日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 木本 茂
 コード番号 8233
 連絡先 広報・IR室長 園田 早苗
 (大阪) 06-6631-1101
 (東京) 03-3211-4111

2018年2月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大阪店	+0.6	+0.6	立川店	△31.0
堺店	+0.7		大宮店	+4.1
京都店	+4.1		柏店	+2.5
泉北店	△5.6		(株)高島屋単体 13店舗	△0.2
日本橋店	△6.4		岡山高島屋	△5.3
横浜店	+1.1	+0.8	岐阜高島屋	△4.8
港南台店	△3.3		米子高島屋	△1.3
新宿店	+4.7		高崎高島屋	+0.8
玉川店	△0.8		(株)高島屋単体 および 国内百貨店子会社 17店舗	△0.4

京都店の売上高は「洛西店」を含みます。
 横浜店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」「タカシマヤ スタイルメゾン海老名店」、柏店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、岡山店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」を含みます。

■ 概況

2月度の店頭売上は、不安定な株式市場の心理的影響に加え、月初の降雪影響もあり、昨年7月度以来の前年比マイナスとなりました。なお、免税売上は前年比+14.6%となりました。

店舗別では、大型店が大阪店・京都店・横浜店・新宿店は前年を上回りましたが、日本橋店が昨年開催した店外催事の反動影響が大きく前年に届きませんでした。郊外地方店では、堺店・大宮店・柏店・高崎店が前年を上回りました。

なお、泉北店・立川店・米子店は前年同月比で売場面積が縮小しております。

商品別売上は、株式市場は不安定であったものの、高額品である特選衣料雑貨(当社分類による17店舗ベース、以下同じ)・宝飾品に加え、堅調な動きが続く紳士服が前年を上回りました。

一方、紳士雑貨・婦人服・婦人雑貨・リビング・食料品等は、前年に届きませんでした。

以上